

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	品川区		代表者名	濱野 健
担当者部署	企画部情報推進課情報戦略担当		連絡先電話番号	03-5742-6031
担当者役職	主査	担当者氏名	菊地	連絡先E-mail
住所	140-8715 東京都品川区広町2-1-36			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	品川区の状況を事前に調べてきてくださり、他自治体の事例等を含めて職員のDX推進に対する機運醸成に必要な事を丁寧に説明いただいた。
アドバイザーへの要望事項	引き続き3日目の研修実施に向けて支援をお願いします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月12日	14時00分	15時30分		90
3-2. 派遣場所	会場名	品川区役所		最寄駅	大井町駅
	所在地	品川区広町2-1-36		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	事前打合せ(実地)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的に記入下さい)	区全体でDX推進するうえで、職員一人一人が自分たちの事とらえ業務改善等を実施しようとする意識になっていない。 (例: 区民の利便性向上・業務効率化の目的をセットで行政手続きのオンライン化を検討しても、業務が煩雑になる等の理由のみでオンライン化出来ないと回答してくる所属も多く、業務改善しようという意識が低い)	
支援により目指す成果 (具体的に記入下さい)	3日目に実施する研修をきっかけに、職員一人一人がDX推進の実践者として取り組もうと考える機運醸成	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	品川区の現在のDX推進状況に対する助言 他自治体でのDX成功事例の紹介 研修実施に向けた講演内容の打ち合わせ	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	研修実施に向けた講演内容の方向性の決定	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	区全体のDX推進の中でも重要となる防災業務および福祉業務について次回支援いただく予定	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは3日目の研修後に実施予定	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	区全体のDX推進	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

